

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 山形県酒田市立八幡小学校

① 学習指導案

プログラム	No. 11 「地域景観プランナーになろう」
単元名 (全28時間)	おらほ（八幡）の「おもしろ！」プロジェクト
学習のねらい	<p>ふるさと八幡にある面白い（おもしろ）もの・素晴らしいもの（人・景観・伝統文化）を探しつつ、そこで知ったことや体験したこと・出会ったこととつながりながら、自分が住む地域の良さに気づく。</p> <p>学んだことを地域内外へ発信する活動を通して、地域社会に参画し、地域社会の課題を自分事として考え、自己のよりよい生き方を形成していくことができる。</p> <p>「景観」を学ぶ機会をつくり、地域の眺望景観や町並み景観等を再認識し、これからの美しいまちづくりへの意識を持ち、郷土の良好な景観を守り育てる行動ができる。</p>
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域にある「景観」「魅力」について考え、どこにどのような魅力があるか意見を共有したり、保護者にアンケートをとったりしながら住んでいる地域について考える。（課題設定） 2 山形県の景観出前授業や課外授業を通して、魅力やよさとして発信できるように情報を集める。地域の行事を知り、社会の一員として参画できるように情報を集める。（情報収集） 3 地域の魅力やよさだけでなく、課題も考えることで、「誰に、どのように、何を」情報として発信していけば良いか考えながら情報をまとめる。（整理分析） 4 魅力ある景観スポットとするための企画を立て、情報を発信していく。（まとめ）
参考資料 準備品 実施場所等	<ul style="list-style-type: none"> ・山形県の景観出前授業 ・タブレット（撮影用） ・八幡小学校学区内

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
3	1. 地域の課題を捉え、景観や魅力を広める計画を立てる。 (課題設定)	・探究活動1サイクルを終えて、さらに地域の景観や魅力を広めるため、「だれに、どのように、何を使って」広めればよいか、課題を導き出せるようにする。	・考えた活動を成功させるために必要な課題を明らかにしている。【思考・判断・表現】

10	<p>2. 地域の景観や魅力を調べよう。(情報収集)</p> <p>①山形県の景観出前授業や課外授業を受ける。</p> <p>②地域の「雪祭り」に参加するための企画やイベントを考える。</p>	<p>・景観出前授業や現地での課外授業を通して、まちづくりに取り組む人の思いや景観の素晴らしさを考えさせる。</p> <p>・「景観」に関心を持ち、良好な「景観まちづくり」に関わる意識を持った人づくりをねらいとしていることをおさえる。スタッフとして参加する地域行事の企画内容を地域の方々にプレゼンテーションする。そのため、「だれに、どのように」など参加する全員が楽しめる企画を考えさせる。</p>	<p>・自分で決めた課題の解決のための調査活動を、目的や対象に応じて実施している。【知識・技能】</p> <p>・課題解決に必要な方法を明確にしながら学習計画を立て、見通しをもちながら情報を蓄積している。【思考・判断・表現】</p>
10	<p>3 地域の魅力やよさだけでなく、誰にどのように何を情報として発信していけば良いか考えながら情報をまとめる。(整理分析)</p> <p>①地域の方々と企画内容を検討する。</p> <p>※「景観」に関心を持ち、自分ごととして「景観まちづくり」に関わる意識をもった人づくりのためにイベントを開催する計画を立てる。</p> <p>②イベントを成功させるための準備をする。</p>	<p>・地域の方とのワークショップの経験を通して、まちづくりの思いを知ること、地域社会に参画する意欲を高める。</p>	<p>・地域の魅力を伝えるために、地域住民や友だちの考えを生かしながら、協働して課題の解決に向けて取り組もうとしている。</p> <p>【主体性・協働性】</p>
5	<p>4 魅力ある景観スポットとするための企画を立て、情報を発信していく。(まとめ)</p> <p>①学習発表会で、「玉簾の滝」を動画で紹介する。秋と冬の玉簾の滝の様子を観察し、景観の素晴らしさを実感する。</p> <p>※ボランティアで地域行事にスタッフとして参加。</p>	<p>・「玉簾の滝」で学んだことを、動画づくりやパンフレットにして発信していく。</p> <p>・地域の方と綿密な打ち合わせを行うことで、自分たちで企画を運営できるようにする。</p> <p>・自分事にできるよう、役割を明確にしながら担当を決めて責任をもって取り組み、思いが表現でき</p>	<p>・お互いの考えや理由、収集した情報などを比較、取捨選択しながら、自分たちの思いや願いを分かりやすくまとめ、表している。【まとめ・表現】</p>

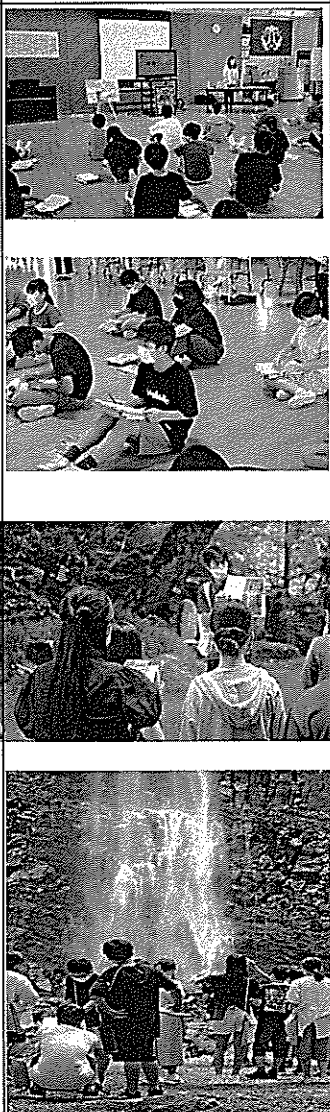
<p>②探究活動を振り返り、学習したことを伝えるために新聞やちらしを作って、校内や地域に知らせる。沖縄交流の際にも、八幡地域の「景観」を発信できるようにする。</p>	<p>るようにする。 ・社会の一員として学習してきた成果をよりよい表現方法を選択して、周知できるようにする。</p>	
---	--	--

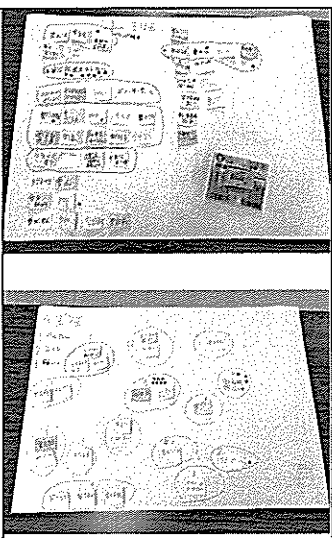

<留意点>







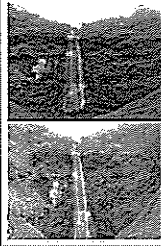
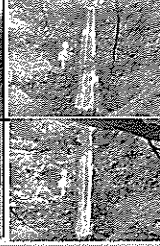



・地域の人やものとはできるだけ関わりをもち、地域のよさを実感することで、地域社会の一員としてよりよいまちづくりをしようという思いにつながるよう指導する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 酒田市立八幡小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
4	教室 玉簾の滝	<p>○景観出前授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「景観」とは何かを考えながら、山形県では「景観まちづくり」にどのように取り組んでいるかを学習する。 →「景観」とは、「目に映る景色」と学習。人が見たいものに共通する事とは何かを理解した。地域で取り組む「景観づくり」を理解し、自分たちでできることはないか検討する。 <p>○現地での課外授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉簾の滝を訪問し、景観まちづくりに努める人の思いや願いを学習した。 → 一人一台タブレットを活用し、「景観」を撮影。人によって「景観」が異なることを知った。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが住む地域には美しい景観がたくさんあることに気づいた。 ・地域の景観を守ろうとする意欲が高まっている。 ・自分たちで景観を紹介する活動に取り組めないか考えた。 ・初めて訪れた子ども、「心がすっきりした。」「頭の中がスカッとする。」など景観のよさに気づいた。

6	教室	<p>○ 地域祭りでの企画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 景観について話し合った中で季節毎にしか見ることができないものがある。景観の中で、全員で体験したことを将来、子どもたちが思い返せるようなイベントを企画する。 ・ 景観の中で遊んだことや体験したこと <p>→ 雪上宝探し、雪上の当て、雪上野菜採り、巨大かまくらなどの企画を考えた。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 老若男女問わず、みんなに楽しんでもらえるイベントを作れるか不安。 ・ 今までやったことがないことをやり遂げられるか不安。
6	大沢コミュニティセンター	<p>○ 地域の方との企画検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の祭りにスタッフとして参加し、企画運営を行うため、どのようにすれば来場者に楽しんでもらえるか、地域の方と企画を検討する。 ・ ワークショップ形式で企画を検討し、お互いに意見を出し合い、よりよいものに精選していく。 <p>→ 地域の方と企画内容を検討することで、イベント運営に携わってきたプロの意見を聞くことができた。子どもだけで考えた企画では、運営面や安全面で不備があることを知った。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の方と実際に話ができ、少しずつ自分たちの活動に自信がもてた。 ・ 景観の「雪」を楽しめるものにはできるか不安。 ・ 全員でよりよい企画にするために話し合うことができ、新しい発見や納得する場面があった。 ・ 地域の方と一緒にスタッフとして、「がんばっていくぞ。」と決意するきっかけとなった。

<p>4</p>	<p>大沢コミュニティセンター</p>	<p>○イベントを成功させるための準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地での準備を経験することでスタッフとしての自覚と責任感をもつ。 <p>→実際に準備を経験したことで、イベントづくりの大変さと準備時間がかかることを知った。</p>  	  	<ul style="list-style-type: none"> ・大変な準備を経験したことで、参加者を楽しませようと思うようになった。 ・イベントをつくるのは、案外簡単なことだと思っていたが、経験してみると大変なことばかりで、企画運営することの難しさを知った。
<p>5</p>	<p>教室</p>	<p>○まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動を振り返り、体験しながら学んできたことを伝えるためによりよい表現方法を選択して、周知する。 <p>→パンフレットづくりやポスターづくりの経験からどのようにすれば効果的な表現ができるか考えた。</p> <p>→玉簾の滝を再度訪問して、氷瀑を観察することで1つの景観が見せる多様な姿を捉えた。</p>	     	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようにすれば多くの人が目につくか考えることができた。 ・パンフレットを通して、八幡の景観の素晴らしさを知って欲しい。 ・雪をここまで楽しいものに変えて参加者に笑顔で帰ってもらったので下学年にもぜひ経験して欲しい。

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちが、自分たちで活動を創り上げていくことができるよう、活動後の振り返りを重視して連続性のある学習を展開してきた。イベント企画を行うために、地域の方との交流を密にして思いや願いを汲みながら活動を進め、安全面や運営面に気をつけられるよう助言していただいた。・現地での体験を多くすることで、子どもたちが五感を使って景観の素晴らしさを感じられるようにした。
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもたちがイベント企画をしたものの、安全面や運営面で課題を感じ、子どもたちの思いを実現させるための手立てを考えるのに苦労した。・地域の方と打ち合わせを行う日程調整や、子どもたちにイベントスタッフとしての自覚と責任をもたせるために工夫した。・地域の方の思いが子どもたちに伝わりにくいため、子どもが自分事として考え、意欲的になるように教師側で支援策を思案し、講じる点で苦労した。
<p>(3) 児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none">・4月当初、「地域の良さや魅力は何か」と聞かれて何も答えられなかった子どもたちが地域の景観を見直したり、地域の祭りにスタッフとして参加したりした経験から、今では「もっと地元を盛り上げていきたい」と考えている。今回の活動を行ったことで、子どもたちからは、「人と関わることの大切さが分かった」「自分たちだけでなく、相手のことを考えて活動することができるようになった」「地域の方の思いや願いを聞いて、これからつなげていこうと思った」等と、様々な振り返りがあった。・スタッフジャンパーも子どもたちのデザインで作成し、全員で揃えたことから学年の中により深い絆が生まれたと感じている。
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの時からまちづくりや景観のことについて考えることで、未来のまちづくりへの希望がもてたり、よりよいまちづくりを担う人材を育成したりできると感じるようになった。・子どもたちの思いや願いを汲みながら、教師がコーディネートすることは大変であったが時には子どもに任せ、挑戦させ、学んだことを振り返らせることの大切さを知った。
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <ul style="list-style-type: none">・指導計画の通りを進めるのではなく、子どもの思いや思考を大切に、学習活動の変更を行ってきたため、活動もスムーズに流れたと感じている。本来であれば、すべて子どもたちで活動を創り上げることが大切だと感じていたが、時間数の問題や活動の安全面の制限があり、教師主導となった場面もあった。・今後は、子どもたちが地域の課題を意識しつつ、主体的に課題解決に向けて取り組み、地域社会の一員として地域に関わってほしい。